

IHI グループの環境配慮製品

IHI グループは、地球環境の保全および負荷低減に貢献するさまざまな製品・サービスを提供しています。そのなかで特に環境性能の優れたものを「環境配慮製品」として認定する独自制度を設けています。本制度は、製品・サービスの環境性能を分かりやすく表現し、その良さを多くの方に知っていただくことを目的としています。

本誌ではこれまでに認定した製品を順次紹介していきます。



省エネ



温室効果ガス削減



省資源



環境リスク低減



生物多様性保全

企業が環境問題に取り組むことは、いわゆる「企業の社会的責任 (CSR)」の一部です。環境と経営との一体化を推進することにより、法令遵守にとどまらず、事業活動によって価値を創造し社会に提供することが必要です。

IHI グループは 2018 年を目標年度とする「IHI グループ環境ビジョン 2013」を定め、3 か年計画「IHI グループ環境活動計画 2016」に基づいて環境経営を推進しています。その活動状況は統合報告書や Sustainability Report で公開しています。また、お客さまをはじめとするステークホルダーの皆さまからの情報開示要請にお応えする機会が年々増しています。

IHI グループは「技術をもって社会の発展に貢献する」という経営理念のもと、地球環境負荷の低減に貢献する製品・サービスを多数提供し続けています。

さまざまな情報開示要請に応えること、そして何よりも多くの方に IHI グループの製品を知っていただきたいという思いから、「環境配慮製品」という独自の認定制度を設け、IHI グループの生み出す製品・サービスが、どれだけ環境面で社会に貢献でき、お客さまの役に立っているかを、独自基準を設けて審査し、認定のうえ公開することにしました。

環境配慮製品の認定に際し、審査対象となる製品・サービスを設計から製造、使用、保守、廃棄に至るライフサイクルで評価します。その指標は 5 つの環境性能（上部の評価マークを参照）です。環境法規制をクリアしたうえで、優れた機能や性能を有するものを認定します。そして、その評価に使用する情報は、実証されていて検証可能な事実に基づくものとしています。

環境配慮製品は現在 11 製品（2016 年 12 月現在）あり、これからも続々と認定していきます。認定の有効期間は 3 年間です。

本稿では、「環境配慮製品が具体的にどのように環境に配慮されているか」と、「お客さまのもとでどのように地球環境の保全および負荷低減に貢献できるか」をご紹介します。

【IHI グループ環境配慮製品 HP】

<https://www.ihigroup.com/csr/environmental/products/>

（文責：CSR 推進部）



自転車シェアリングシステム コミュニティサイクル



街中に設置された場所から、いつでも自由に自転車を借りて返せます

「ものを所有せず“シェア”することで豊かに暮らす」という生活様式が広まりつつあるなかで、気軽に“シェア”できるのが自転車です。

株式会社 IHI エスキューブ (IS3) は、工具管理用の IC タグシステムを、駐輪場機械と組み合わせることで自転車のシェアリングシステムに発展させました。環境面では、



交通渋滞を解消し CO₂ の排出が削減されること、汎用品を利用したコンパクト設計による省資源、駐輪設備の制御電力消費を抑えた省エネという点を評価しました。

ただし、いくら環境に良くても使われなくては意味がありません。IS3 の強みは、これまで全国で何か所ものシステムを手掛けた実績により、設置場所やターゲット設定など、利用率を高めるためのきめ細かい提案がお客さまにできること。さらに開設後の保守管理も万全です。

2020 年の東京オリンピックを見据えてクリーンな街づくりを目指す自治体からは、放置自転車をなくす解決策として、注目を浴びています。

ガソリン車用ターボチャージャー



エンジンのパワー向上とダウンサイジングによる燃費向上を実現します

IHI 製品のなかでも、環境配慮面でのリーディングプロダクトと言えるのが、先ごろ累計生産台数 5 000 万台を超えたターボチャージャーです。電気自動車のシェアが伸びつつありますが、化石燃料を使うガソリン車は 10 年後でも 80% のシェアがあるとみられて



います。このため、日々現場では環境負荷の低減化を工夫し、製品を送り出しています。

ターボチャージャーには、環境面で 3 つの長所があります。出力・加速力を維持しながら燃費が向上するため、CO₂ 排出量が削減され、結果的に環境リスクを低減させます。また、エンジンが小型・軽量化されるため、使用する資源量が減ります。さらに、排ガスの熱エネルギーを回収して利用するため、低燃費、出力増加に貢献します。

このような環境対策優等生のターボチャージャーの生産・販売拠点はアメリカ、ヨーロッパ、アジアにあり、グローバルに事業展開しています。